

# 令和3年度 学校経営の基本方針

【教育目標】 自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒

## 1 目指す生徒

**「自分で考え、行動できる生徒」(=自立)**

## 2 具体的な生徒の姿

- 「やってみたいこと」を言葉にし、実現を目指して行動する生徒
- 「やらなければならないこと」をやり通す責任感と忍耐力を備えた生徒
- 「やってはいけないこと」を理解し、自分を律する高い規範意識をもった生徒

## 3 具体的な取組

### (1) 生徒の人権を尊重

- ① 全校体制で「言語環境」を整える。 ※「～さん」の徹底
- ② 生徒が納得し、誰が見ても理解できる指導の仕方を実践する。

### (2) 温かい人間関係づくり

- ① 教師と生徒の関係性を高める。＜誠実に、平等に、迅速に、丁寧に＞
- ② 一人ひとりに光を当て、よさを具体的な言葉で褒める。
- ③ 生徒同士がかかわる機会を増やし、互いを認め、高め合う集団をつくる。
- ④ 全校体制で「生徒自身が自分の思いを語る」機会を仕組む。

### (3) 主体的な活動の支援

- ① 生徒自らの手で行事や活動を創り上げる。  
＜東友会入会式、生徒総会①②、体育祭、いじめ見逃しゼロ集会、三送会＞  
＜生徒朝会、学年朝会、学級での話合い＞  
＜専門委員会、係活動、清掃・給食活動等＞
- ② あえて失敗をさせるくらいの気構えで生徒の活動を支援する。
- ③ ひと手間を惜しまない。手間をかけるポイントは、
  - ・ 先の見通しをもたせるための早めの指示支援
  - ・ 答えを教えない、やってあげない。 → 解き方、やり方を教える。

### (4) 規範意識の醸成

- ① いじめ(言葉、暴力、仲間外し、いじり、SNS等による)を許さない風土をつくる。
- ② いじめの早期発見、即時対応に全校体制で取り組む。
  - ア できるだけ生徒とともに。真実は子どもの中にある。
  - イ 日常的な情報共有。報告・連絡・相談・報告を徹底する。
  - ウ いじめに対する感度を上げる。一人で抱え込まない。
  - エ 保護者対応は、顔と顔を合わせて心を通わせる。
  - オ 「心のアンケート」(仮称)とチャンス相談を組み合わせて、生徒理解に努める。

### (5) 分かる授業、将来に生きる授業づくり

- ① 授業で勝負する教師を全教職員で目指す。 ※電子教材や教具の有効活用
- ② 実力テスト等で発揮できる本物の力の育成
- ③ キャリア教育を中核にした総合的な学習の実践

## 4 経営ビジョン

- 「学校をひらく」東中のよさも課題もすべてオープンに。課題を保護者、地域と共有。
- 「温かい職員集団をつくる」大人の姿は生徒の見本となる。